

# 生光学園中学校

〈Since 1947 学園創立 74周年〉

令和3年度 12月行事予定

光は外に求めるものでなく  
自己の中にあり  
自らの心の中に光を見出したとき



# 12

# December 2021

日	月	火	水	木	金	土
			1 期末テスト 1日目	2 期末テスト 2日目	3 期末テスト 3日目	4
5	6	7	8	9	10	11 生徒臨休 〔中学校入試〕
12	13 保護者懇談 (~12/27)	14	15	16	17 人権集会	18 *(IEO登校) 特進・総合臨休
19	20	21	22 Y9実力テスト 避難訓練	23 終業式	24 補習①	25
26	27 補習②	28	29	30	31	

\* 中学校入試関係で臨時休校とします。  
12月11日(土) IECコース  
12月18日(土) 特進・総合コース  
ご協力よろしくをお願いします。

\* 令和4年度 生光学園中学校

入学試験 12月11日(土) ご紹介よろしくをお願いします。

願書受付 11/29~ (A出願) 12/6~ (B出願)

先月、東京パラリンピック出場の辰己博実選手が生光学園にこられ、中学生全員にお話をして頂きました。辰己選手は徳島県の出身で、13年前、スノーボードの事故で脊髄を損傷し、車椅子生活となってしまいましたが、周囲の人々の手助けで、再びスノボやサーフィンを楽しめるようになった経験を紹介されました。ご自身の体験を、淡々とポジティブに語られますが、事故直後、「もう歩けることはありません」と、医師に告げられてから現在にいたるまでの、壮絶な葛藤や苦しみ・辛さは、想像を超えたものだと感じました。

辰己博実語録をいくつか紹介します。

- 「僕はラッキー。ケガをしたからこそ、世界と戦える舞台に立てた。」
- 「不便はあるが、不自由ではない。」 「障害があってもここまでできる。」
- 「(今回の講演テーマ→) あきらめたことを あきらめない。」
- 「自分のやっていることが、人を感動させ、希望を与えることができる。」

ポジティブで、実に明るい辰己さんの講演を聞き、ささいなことに腹をたてたり、少しの不自由さに愚痴を言ってしまう自分を恥ずかしく感じました。できないことより、できる事をひとつずつ増やしていっている...という辰己選手の“3年後のパリ”でのご活躍をご祈念したいと思います。

